

令和6年度

代田陶芸教室 年間カリキュラム

研究科

午前10:30~12:30

午後13:30~15:30

NO	金曜日	制作内容	粘土	土量 kg	技法	個数	備考
①	4/9	面取り作品	信楽赤K	1.2	ひも作り	1~2	厚めに作り、切り糸でそぎ落として模様にする
②	4/23	古信楽作品	古信楽	1	ひも作り	1	花入れや、鉢など「土灰釉」を掛けて「還元焼成」する作品を作る
③	5/14	透かし彫り作品	信楽白	1	自由	1	成形後に針などで模様をくり抜く ランプシェードや菓子鉢など
④	5/28	蕎麦猪口	信楽白	1	板作り	2	粘土を5mmに伸ばし、型で成形
⑤	6/11	施釉:①②③	—	—	—	—	施釉:①面取り作品 ②古信楽作品 ③透かし彫り作品
⑥	6/25	自由制作	混合土	1	自由	1~2	混合土(いままでの制作で残った粘土)で自由に制作する
⑦	7/9	練り込み作品	志野黄土	0.7 0.3	板作り	1~2	白土に赤土を貼り付けて模様にし 「型おこし」などで仕上げる
⑧	7/23	備前灰釉作品	備前	1	ひも作り	1~2	自由な形で制作する 素焼き後に灰釉を掛ける(還元焼成)
⑨	8/6	施釉:④⑥⑦	—	—	—	—	施釉:④蕎麦猪口 ⑥自由制作 ⑦練り込み作品
⑩	8/27	鉄絵作品	五斗蒔黄土	1	ひも作り	1	素焼き後に「弁柄」で絵付けをする ための作品を作る
⑪	9/10	施釉:⑧ 制作:掻き落とし	志野	1	自由	1	施釉:⑧備前灰釉作品 制作:次回模様を施す作品を成形する
⑫	9/24	掻き落とし作品 (仕上げ)	—	—	—	—	仕上げ:⑪に化粧土を塗り、模様を 削り出す
⑬	10/8	白化粧作品	五斗蒔黄土	1	ひも作り	1~2	成形後に白化粧で加飾する (刷毛目・指描き・布目)
⑭	10/22	施釉:⑧⑩ 制作:自由制作	— 信楽白	— 0.5	— 自由	—	施釉:⑩鉄絵作品 ⑪掻き落とし作品 制作:白土で自由に制作する
⑮	10/29	絵付け作品	信楽白	1	ひも作り	1	素焼き後に「呉須」などで絵付けをする ための作品を作る
⑯	11/12	印花作品	五斗蒔黄土	1	自由	1~2	成形後に素焼き印で模様をつける 素焼き後に「白化粧」を埋め込む
⑰	11/26	施釉:⑬⑭⑮	—	—	—	—	施釉:⑬白化粧作品 ⑭自由制作 ⑮絵付け作品
⑱	12/10	レリーフ作品	信楽白	1	板作り	1	板にした粘土に凹凸模様を施す 壁に掛ける「穴」を作る
⑲	12/24	とよばこ くりぬき陶管	信楽白	1	くりぬき	1	「くりぬき」技法(本科・土鈴)の 応用で、ふたものを作る
⑳	1/14	織部風 板作り鉢	信楽白	1.2	板作り	1	本科「角鉢」の応用 織部風の鉢を板作りで制作する
㉑	1/28	自由制作	混合土	1	自由	1~2	これまでの技法を使って自由に作る
㉒	2/4	施釉:⑯⑱⑲	—	—	—	—	施釉:⑯印花作品 ⑱レリーフ作品 ⑲くりぬき陶管
㉓	2/25	施釉:⑳㉑ 講評会	—	—	—	—	施釉:⑳織部風板作り鉢 ㉑自由制作

制作内容	指導要綱
面取り作品	
古信楽作品	
透かし彫作品	
蕎麦猪口	初呉須
施釉:①②③	
自由制作	
練り込み作品	ストライプや水玉などシンプルに型おこしの指導も行う
備前灰釉作品	
施釉:④⑥⑦	初呉須
鉄絵作品	初弁柄
施釉:⑧ 制作:掻き落とし	施釉に撥水剤なし 掻き落とし制作をしながら班ごとに施釉でも良いか
掻き落とし作品 (仕上げ)	
白化粧作品	
施釉:⑧⑩ 制作:自由制作	初弁柄 500gの作品を提示する 湯のみ、飯茶碗など
絵付け作品	
印花作品	予定していた象嵌作品は本科で履修済みのため。 翌年度からは象嵌作品(印花も可?)
施釉:⑫⑬⑮	
レリーフ作品	貼花、簡単片切彫りなど
とうばこ くりぬき陶笛	
織部風 板作り鉢	
自由制作	
施釉:⑯⑰⑱	
施釉:⑳㉑ 講評会	